

砂防ボランティア通信

1998. 1. 12

Vol. 2

発行：大阪府砂防ボランティア協会

■ ごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。阪神・淡路大震災から丸3年が経とうとしています。阪神・淡路大震災を契機として設立した当協会も昨年、まだまだ手さぐりの状態ではありますが、皆様のご協力を得ながら活動を開始することができました。本年も皆様のご支援を得ながら、土砂災害防止に向けた活動を行っていきたいと考えております。今後とも、ご協力の程よろしくお願いいたします。

大阪府砂防ボランティア協会 会長 川村 孝一

■ 『砂防ボランティア講習会』を開催

平成9年9月9日（火）府庁新別館北館において、「砂防ボランティア講習会」を開催しました。当日は、65名のボランティアの方々が受講され、熱心に講義に耳を傾けていられました。

講義の内容は次のようなものでした。

1. 大阪府における砂防事業について
2. 土砂災害危険箇所について
3. 土砂災害早期発見のチェックポイント
4. ビデオ上映

受講された方々は、大変お疲れさまでした。受講された感想やご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の講習会の参考にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

また、受講できなかった方々は、平成10年度も講習会を予定しておりますので、次の機会に是非受講ください。



■ ボランティアの登録者数が207名に！

平成10年1月12日現在、砂防ボランティアの登録者数が207名となりました。大変多くの方に砂防ボランティアに関心を持っていただいたことに感謝いたします。今後もより多くの方に当協会のことを知ってもらえるよう、より充実した活動をしていきたいと思っております。

毎年1月17日は「防災ボランティアの日」、
毎年1月15日～21日の一週間は「防災とボランティア週間」です。

■砂防ボランティア協会主催の現地パトロールを実施

箕面市では、去る平成9年8月7日（木）の豪雨により土石流災害が1件、急傾斜地の崩壊による災害（土砂崩れ災害）が3件発生しました。（砂防ボランティア通信 Vol. 1でも紹介。）

そこで、砂防ボランティア協会では、平成9年9月27日（土）に箕面市止々呂美地区において、二次災害の防止と地域住民の方々に土砂災害に対する啓発活動を目的として現地パトロールを実施しました。

当日は、砂防ボランティア協会会員及び事務局員、大阪府池田土木事務所職員、箕面市役所職員、上止々呂美及び下止々呂美地区の地域の方々の総勢41名により、急傾斜地崩壊危険箇所3箇所、土石流危険渓流2渓流をパトロールしました。パトロール中は地域住民の方々から8月7日の豪雨時の状況や日頃不安に感じている点等を聞き取りながら、斜面地や渓流のチェックを行うとともに、土砂災害に関する注意点等の説明を行いました。パトロール終了後、砂防ボランティア協会から土砂災害に関する啓発活動を行うとともに、砂防ボランティアへの参加を呼びかけました。



どんなかけは危険です

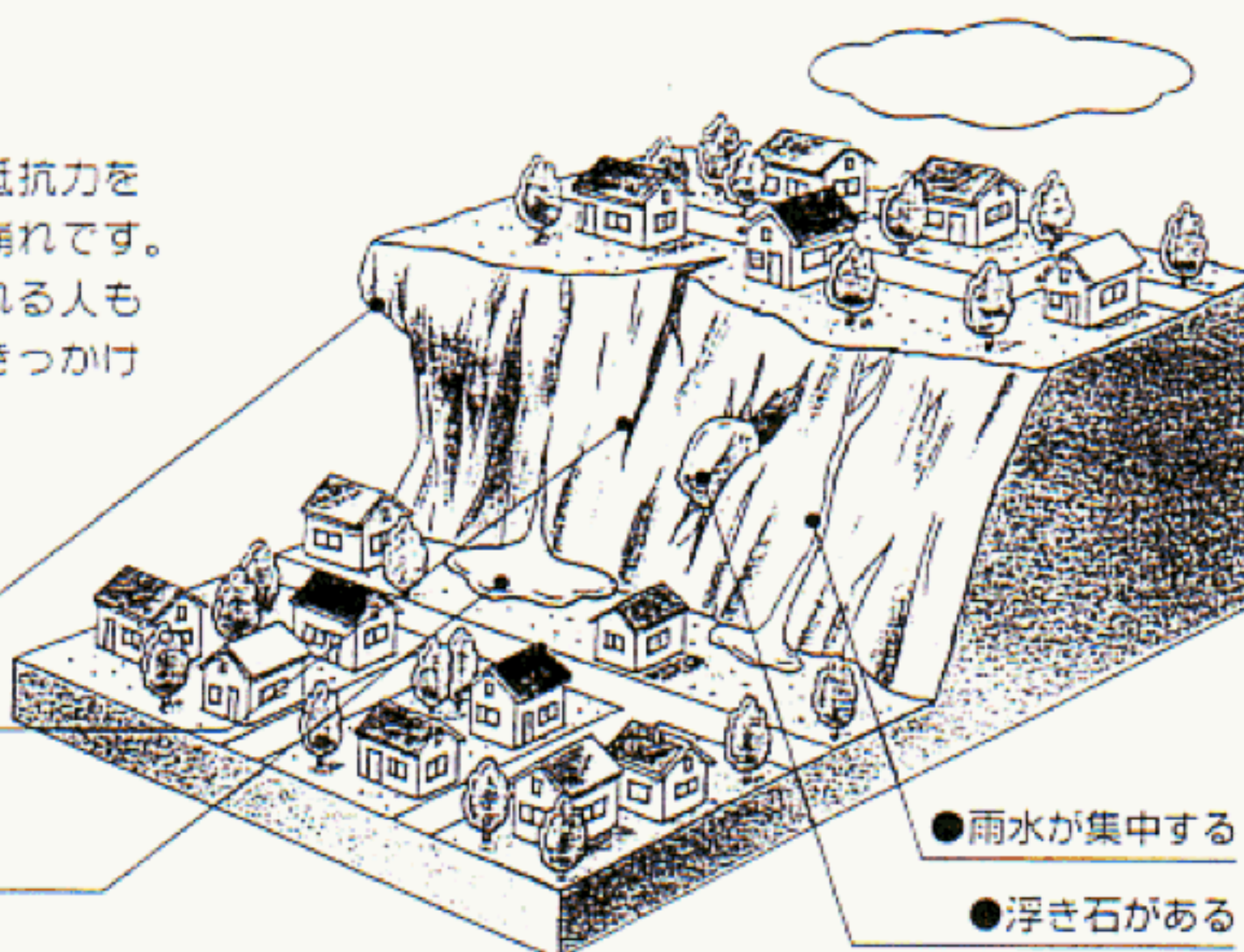
がけ崩れの多くは、地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。また、地震をきっかけに起こることもあります。

「がけ」に浮き石や亀裂があつたり、水が湧いていたりしたら危険ですので、ふだんから様子を見て注意しましょう。

●はりだしている

●割れ目がある

●わき水がある



★砂防ボランティアに関するご意見やご質問は下記までお問い合わせください。

連絡先 : 大阪府砂防ボランティア協会事務局
 ☎540-70 大阪府中央区大手前2丁目
 ☎06-941-0351（代表） 内線2956
 ☎06-944-6039（直通）
 大阪府土木部ダム砂防課内 担当 高城、渡部